

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日
東

上場会社名 倉庫精練株式会社 上場取引所
 コード番号 3578 URL http://www.soko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)羽田 学
 問合せ先責任者 (役職名)総務課長 (氏名)上田 紀昭 (TEL)076-249-3131
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|-------|------|---|------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 743 | △15.1 | △75 | — | △79 | — | △86 | — |
| 2019年3月期第1四半期 | 875 | △14.8 | △51 | — | 164 | △2.4 | 1,115 | 572.0 |

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △83百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 882百万円 (3,380.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | △60.38 | — |
| 2019年3月期第1四半期 | 783.35 | — |

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。
 前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 3,539 | 1,624 | 45.9 |
| 2019年3月期 | 3,600 | 1,708 | 47.5 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,624百万円 2019年3月期 1,708百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2020年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,390 | △19.7 | △70 | — | △50 | — | △55 | — | △38.6 |
| 通期 | 2,750 | △18.5 | △150 | — | △100 | — | △110 | — | △77.2 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期1Q | 1,428,015株 | 2019年3月期 | 1,428,015株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期1Q | 3,649株 | 2019年3月期 | 3,649株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期1Q | 1,424,366株 | 2019年3月期1Q | 1,424,475株 |

※ 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| 3. その他 | 8 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善は継続しているものの、企業収益や設備投資に弱さが見られ、不透明感が増大しました。世界経済は、米中間の通商問題の動向に伴う中国経済等の減速懸念及び為替動向のリスク等が高まっており、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当繊維業界におきましても、国内外の大きな事業環境の変化、輸入原材料価格の高止まり、企業間競争の激化により、依然として厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、生産効率・収益の改善、得意とする素材・加工の開発・販売を強力に推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億43百万円(前年同四半期比15.1%減)、経常損失は79百万円(前年同四半期は1億64百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は86百万円(前年同四半期は11億15百万円の利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

衣料用途においては、得意とする複合商品、合繊アウターは堅調に推移しました。資材用途においては、高機能繊維商品関連は堅調に推移しました。一方で、車輛資材関連はメキシコ海外子会社の譲渡により減少となりました。

以上の結果、繊維事業全体における売上高は6億30百万円(前年同四半期比13.4%減)、営業損失は94百万円(前年同四半期は67百万円の損失)となりました。

② 機械製造販売業

機械製造販売業における売上高は45百万円(前年同四半期比54.3%減)、営業利益は6百万円(前年同四半期比58.3%減)となりました。

③ 内装業

内装業における売上高は70百万円(前年同四半期比37.0%増)、営業利益は9百万円(前年同四半期は2百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、35億39百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少63百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、19億14百万円となりました。主な要因は、短期借入金が30百万円減少したものの、電子記録債務が88百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ83百万円減少し、16億24百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が86百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表しました連結業績予想を据え置くものとします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,582,530 | 1,519,514 |
| 受取手形 | 137,675 | 147,750 |
| 電子記録債権 | 183,051 | 181,762 |
| 売掛金 | 341,502 | 386,339 |
| 商品及び製品 | 40,132 | 35,252 |
| 仕掛品 | 150,024 | 137,066 |
| 原材料及び貯蔵品 | 98,153 | 106,359 |
| その他 | 136,718 | 118,924 |
| 貸倒引当金 | △358 | △671 |
| 流動資産合計 | 2,669,431 | 2,632,297 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 453,918 | 443,578 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 77,243 | 71,223 |
| その他（純額） | 235,170 | 233,042 |
| 有形固定資産合計 | 766,332 | 747,844 |
| 無形固定資産 | 4,202 | 3,966 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 138,357 | 133,358 |
| 繰延税金資産 | 17,635 | 17,637 |
| その他 | 4,455 | 4,489 |
| 投資その他の資産合計 | 160,448 | 155,485 |
| 固定資産合計 | 930,983 | 907,295 |
| 資産合計 | 3,600,415 | 3,539,593 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 112,693 | 97,710 |
| 電子記録債務 | 293,107 | 381,753 |
| 買掛金 | 152,927 | 136,665 |
| 短期借入金 | 390,000 | 360,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 69,600 | 69,600 |
| リース債務 | 16,291 | 16,114 |
| 未払法人税等 | 8,226 | 7,013 |
| 賞与引当金 | 21,730 | 13,271 |
| その他 | 151,942 | 180,148 |
| 流動負債合計 | 1,216,520 | 1,262,278 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 51,900 | 34,500 |
| リース債務 | 61,241 | 57,398 |
| 繰延税金負債 | 44,343 | 44,492 |
| 役員退職慰労引当金 | 15,530 | 16,908 |
| 退職給付に係る負債 | 402,858 | 399,546 |
| 負ののれん | 1,602 | 1,482 |
| 資産除去債務 | 98,012 | 98,321 |
| 固定負債合計 | 675,488 | 652,649 |
| 負債合計 | 1,892,009 | 1,914,928 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 506,000 | 506,000 |
| 資本剰余金 | 176,681 | 176,681 |
| 利益剰余金 | 1,033,601 | 947,599 |
| 自己株式 | △2,949 | △2,949 |
| 株主資本合計 | 1,713,333 | 1,627,331 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,970 | 16,306 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △20,898 | △18,973 |
| その他の包括利益累計額合計 | △4,928 | △2,666 |
| 純資産合計 | 1,708,405 | 1,624,665 |
| 負債純資産合計 | 3,600,415 | 3,539,593 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 875,869 | 743,329 |
| 売上原価 | 815,235 | 737,413 |
| 売上総利益 | 60,633 | 5,915 |
| 販売費及び一般管理費 | 112,313 | 81,773 |
| 営業損失(△) | △51,680 | △75,857 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 548 |
| 受取配当金 | 1,412 | 1,477 |
| 受取賃貸料 | 11,286 | 8,280 |
| 為替差益 | 207,518 | — |
| その他 | 16,347 | 2,388 |
| 営業外収益合計 | 236,573 | 12,694 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,263 | 866 |
| 賃貸費用 | 3,494 | 1,443 |
| 持分法による投資損失 | 3,566 | 5,469 |
| 為替差損 | — | 5,425 |
| 支払手数料 | 8,203 | — |
| その他 | 2,461 | 3,317 |
| 営業外費用合計 | 19,989 | 16,522 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 164,904 | △79,686 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,373,732 | — |
| 特別利益合計 | 1,373,732 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 1,538,637 | △79,686 |
| 法人税等 | 422,739 | 6,316 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,115,897 | △86,002 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 1,115,897 | △86,002 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,115,897 | △86,002 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 448 | 336 |
| 退職給付に係る調整額 | △13,374 | 1,925 |
| 為替換算調整勘定 | △220,071 | — |
| その他の包括利益合計 | △232,997 | 2,261 |
| 四半期包括利益 | 882,899 | △83,740 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 882,899 | △83,740 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において経常損失を計上しており、当第1四半期連結累計期間においても経常損失を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、連結財務諸表提出会社である当社は当該状況を解消すべく、国内工場統合による生産効率改善の推進、総経費の圧縮等の、経営諸施策を実施し、経営体質の改善を更に推し進めております。また、当社グループの収益と企業価値の最大化に資するため、経営資源を国内に集中させてまいります。

また中期経営方針「We Go 130」の基本戦略「丸井織物×倉庫精練で全ての素材が提案対応できる高収益ミルコンバーターへの改革」などの施策を継続して強力に推進し、丸井織物株式会社との連携による織・染一貫加工商品の拡大と強化への取り組みを更に加速させるとともに、コスト削減及び業務効率化を徹底し、業績の早期回復に努めてまいります。

これらの対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。